

平成27年2月20日

東京航空記者会 御中

東京空港事務所 次長

## 東京国際空港不法侵入事案対応訓練について（お知らせ）

標記について、下記のとおり実施しますのでお知らせします。

## 記

1. 実施日時 : 平成27年2月25日（水） 13時45分～14時45分
2. 実施場所 : 東京国際空港 スポット602・603
3. 主催 : 東京国際空港保安委員会
4. 目的

本訓練は、東京国際空港制限区域内において不法侵入事案が発生した場合に備え、東京空港事務所の初動措置及び関係機関への速やかな通報を行うと共に、警察機関等により不法妨害阻止を行い、航空機の運航及び空港内の安全を確保するため、各関係機関の対処の慣熟を図ることを目的とする。

一昨年は空港ビル保安区域、昨年は悪天候のため中止になりましたが海上制限区域への不法侵入訓練を想定していましたが、制限区域の想定は3年ぶりになります。今回は警察機関の協力により、空港テロ対処部隊と機動隊処理班にも参加していただきます。

## 5. 想定

東京国際空港スポット602・603付近の立入禁止柵を乗り越え、2名の不審者が侵入。空港内事業者の職員と車両を強取。侵入を確認した空港事務所は空港警察へ通報すると共に現場確認のため出庫し侵入者確認後、動向監視を開始する。通報を受け駆けつけた空港警察署は、車両で包囲する。侵入者Aは刃物で人質を盾にし、侵入者Bは拳銃を取り出したため、空港警察署は空港テロ対処部隊の応援を要請する。

駆けつけた空港テロ対処部隊とともに侵入者と対峙、侵入者2名を制圧逮捕する。侵入者の逮捕後、車両内の検索を実施した結果、爆発物とみられる物品を発見したため、爆発物処理班の出動を要請。処理搬送を開始する。

6. 訓練概要 : 別紙1のとおり

7. 参加機関 : 情報伝達 47機関  
現場活動 3機関

8. 参加人数 : 約40名

9. 取材手続きについて

(1) 取材申請

別紙2「取材申請書」を2月23日(月)までに送付願います。

取材時は、空港取材腕章及びプレス用IDカードを着帯願います。

お持ちでない場合は、受付にて記者証又は社員証と交換で貸与いたします。

取材終了後は、受付に返却のうえ、お預かりした記者証又は社員証をお受け取りください。

(2) 訓練当日の受付時間

13時00分～13時25分

(3) 受付場所

別紙1 第9ゲート

(4) その他

①受付終了後に訓練説明及び撮影場所等の説明を行います。

②訓練中の職員等への質問はご遠慮願います。

※訓練終了後、皆様からの質疑を受け付けいたします。

③訓練の進行については訓練会場でアナウンスいたします。

④訓練当日、天候不良又はその他の事由により訓練を中止する場合は、当日の9時までに決定し、ご連絡します。

〈お問い合わせ先〉

国土交通省東京航空局東京空港事務所

TEL 03-3747-3000 fax 03-5756-1541

お問い合わせ時間

09:00～17:00

総務課 金子(内線3041)

航空保安防災課 友利(内線3404)



## 平成 26 年度東京国際空港不法侵入事案対応訓練概要

<p>1 <u>13:45</u></p> <p>立入禁止柵を乗り越え侵入者 2 名が制限区域内に侵入。警備センター（東京空港事務所）にて侵入を覚知し、初動対応（緊急連絡）を実施する。</p>	<p>6 警察車両（東京空港警察署）M-1 ゲート到着。ゲート対応中の警備業務請負者より状況報告を受理後、現場へ急行する。</p>	<p>9 機動隊による爆発物処理時における火災発生等の事態に備え、空港消防車両を現場まで出動させる。</p>
<p>2 緊急連絡を受理し、安全確保の観点から消防車両（東京空港事務所）が庁舎前にて待機すると共に警備センターより保安車両（東京空港事務所）出動。巡回車両（警備業務請負者）についても現場へ急行する。</p>	<p>7 ◇警察車両現場到着。侵入者の説得を行いながら、パトカー等により周囲を包囲する。 ◇保安車両から警備センターへ逐次現場状況が報告される。 ◇侵入者は警察車両により包囲されたことから逃走経路が無くなり、車両から降車し威嚇を行う。 ◇警察は空港テロ対処部隊を投入し、侵入者を拘束する。（現行犯逮捕）その後、侵入者の所持品から金属反応を確認したことから、爆発物の可能性が高いと判断し、機動隊処理班（爆発物処理）の要請を行う。</p>	<p>10 ◇機動隊処理班による、対応開始。 ◇機動隊処理班による対応終了。警戒線等の解除依頼実施。 ◇機動隊処理班の依頼を受け、警察官・保安車両担当は対応を開始する。</p>
<p>3 保安車両及び巡回車両現場、侵入者を発見、保安車両及び巡回警備員 1 名は動向監視を実施。残りの 1 名は侵入箇所の確認を行い、立入禁止柵上部の忍び返しの破損及び衣類を発見。立哨警備実施。</p>	<p>7</p>	<p>11 ◇全機関協力し、侵入者の動線上及びその周辺の検索（安全確認）を行う。 ◇全機関は、検索結果について協議し、異常の無いことを確認する。</p>
<p>4 保安車両より、「侵入者のうち 1 名はナイフのような物を所持し、もう 1 名については拳銃と爆弾を所持していると叫びながら制限区域内を移動している。」旨の連絡を警備センターにて受理。</p>	<p>7</p>	<p>12 <u>14:30</u> ◇訓練終了 ◇講評実施</p>
<p>5 侵入者は、付近を走行中の空港内事業者の車両を強奪し、運転手を人質に取り逃走を図ろうとする。保安車両は併走し、当該車両の動向監視を継続する。</p>	<p>8 機動隊処理班現場到着、警戒線の設定及び人・車両等の避難誘導依頼実施。機動隊処理班の依頼を受け、警察官・保安車両担当は対応を開始する。</p>	

## 平成 2 6 年度東京国際空港不法侵入事案対応訓練

## 【取材申請書】

○発信日 : 平成 年 月 日

○宛先 : 東京空港事務所航空保安防災課担当者宛  
(Fax : 03-5756-1541)

○発信者 : \_\_\_\_\_

社名	
連絡先	
取材者氏名 (ふりがな)	( )
	( )
	( )
	( )
	( )
備考	空港取材腕章及びプレス用 IDカード 有・無 ※○で囲んでください

※Fax の誤送信が多発しておりますので、再度、番号をご確認の上送信願います。

# 【参考資料】 平成26年度東京国際空港不法侵入事案対応訓練

